

奈良教育大学

なっぎょん

サイエンス

7



「青少年のための科学の祭典」を開催します！

子どもから大人まで、誰もが科学の不思議と楽しさを体験できるイベント「青少年のための科学の祭典2025 奈良大会」が、11月15日（土）に奈良教育大学で開かれます。参加は無料で、申し込みはいりません。ぜひご家族やお友だちと一緒に、科学の世界をのぞいてみてください。

この大会は、国や会社、大学や学会が協力して「科学っておもしろい！」を伝えるために全国各地で行われています。奈良でも学校の先生をはじめとする科学好きな人たちに支えられて、今年で第26回を迎えました。当日は工作・実験・演示のブースが約30力所並びます。見えない光を当てると色が変わる「紫外線ビーズのストラップづくり」。好きな曲を作曲できる「手回しオルゴール」の仕組みを勉強したり、外力を受けると固体に近くなる「ダイラタント流体」で水上歩行や防弾チョッキの体験をしたり、人工的に虹の光を作ったり。大学で育てている昆虫や貴重な標本を見られる「ミニ昆虫館」や、大学の屋上にある「天文台」で太陽や月のクレーターを観察するなど、みんなが楽しめる内容が盛りだくさんです。科学の原理を身近に感じながら、自分の手で確かめることができます。

今年は新しい試みとして、先生や大学生が普段の活動や授業づくりの成果を紹介する「ポスター展示」も行います。3Dプリンターを使ったものづくりや、算数の考え方を目で見る仕組みの紹介など、先生た

科学の不思議と楽しさを体験



「青少年のための科学の祭典 奈良大会」で、クイズを通して虫のふしぎを発見する「ミニ昆虫館」の展示

ちが「どうすればもっと分かりやすく、楽しく学べるか」を考えた工夫を発表します。いつもの理科や数学が少し違って見えるかもしれません。来年からは、生徒の皆さんが科学クラブや探究活動で調べたことを「ポスター展示」で発表しに来てもらえたらと思っています。

11月15日（土）
奈良教育大学

科学の根っこは「なぜ？」と問い、本当のことを知ろうとする心です。便利なテクノロジーに囲まれた現代社会だからこそ、科学の仕組みや原理を自分の手で確かめてみるのが大切です。今回の大会が、あなたにとって新しい発見や感動のきっかけとなり、科学に興味を持つ第一歩になることを期待しています。秋の一日、ぜひ奈良教育大学へ来てください。科学の世界をお待ちしています。

（奈良教育大学理科教育講座教授、信川正順）

〓 毎月第1日曜掲載 〓